

ぱりっ子会議から市政への提言プロジェクト

活動を通して学んだこと

名張市子ども条例に基づく子どもが自らの街をより良くするために考え方、市に提言する活動が行われています。私たちには、子どもたちの意見を引き出しに加わり、意見をまとめて、提言を行っています。



TEAM DATA	メンバー数：6名
活動場所	名張市
実施主体	名張市子ども家庭室
担当教員	山本 智子（教育学部）
活動年度	R01, R02

月別活動

- (7月) 今年度(第2回)ぱりっ子会議参加
・今年度より開催される「ぱりっ子モール」のチラシを作成し、市内の小学校などに配布することが決まりました。
- (9月) ぱりっ子会議参加
・昨年度は、名張市公認キャラクターである「なぱりん」をさらに多くの人に知ってもらいたいとしました。そこで、名張市を紹介する「なぱりん」のモチーフを配布することになりました。

- (10月) ぱりっ子会議参加
・「なぱりん」のモチーフになった名所や果物の場所を載せたマップを配布し、なぱりんのことや名張市を知らうことをねらいとした。また、子どもたちに描いてもらったり、イラストを子どもたちに書いてもらったりした。
- ・ぱりっ子モールで、マップを載せたチラシを来場者に配布することになりました。
- その後、会議を重ねるなかで、マップはチラシ仕様にし、ぱりっ子会議のもう一つのイベントであるぱりっ子モールにて、来場者に配布するということになりました。それに合わせマップだけではなく、「なぱりん」のキャラクターを動かしたシールや缶バッヂなどのグッズをイベント内の景品などに採用し、「なぱりん」をより知ってもらうことができました。また、マップのボスター版も活動団体に作ってもらい、市内の小学校などに貼ってもらいました。

- (11月) ぱりっ子モール参加
・来場者の景品などには、「なぱりん」のイラストなどが入った「ぱりっ子会議係者用のマスク」のシールを貼って接着。
=昨年度以上に多くの人に「なぱりん」を知つてもらえた機会であったと振り返る。

今年度2月には市へ、ぱりっ子モールでの活動報告及びマップを用いた更なる提言をする予定です。



- (2月) 市に今年度の活動報告及びマップを行ってもらえるよう提言する予定。

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により当初の予定よりも遅れて、7月より活動に参りました。すでに、大学生メンバーが関わる前に一度会議が行われており、今年度の活動内容の候補が挙げられていました。

私たちは、昨年度より少ない会議の中でまとめなければならないことを踏まえて、候補として挙げられたことを中心に、子どもたちに選んでもらいました。10月の会議には、昨年度の提言した「なぱりん」をさらに多くの人に知らせるよう、「なぱりん」のモチーフになった、名所や果物がある場所を載せたマップを配布することが今年度の提言内容になりました。

その後、会議を重ねるなかで、マップはチラシ仕様にし、ぱりっ子会議のもう一つのイベントであるぱりっ子モールにて、来場者に配布するということになりました。それに合わせマップだけではなく、「なぱりん」のキャラクターを動かしたシールや缶バッヂなどのグッズをイベント内の景品などに採用し、「なぱりん」をより知つてもらうことができました。また、マップのボスター版も活動団体に作つてもらい、市内の小学校などに貼つてもらうように用意しました。

今年度2月には市へ、ぱりっ子モールでの活動報告及びマップを用いた更なる提言をする予定です。

実施主体からのコメント

成果物／制作物



なぱりんグッズ



担当教員より

教育学部 山本 智子

コロナ禍でスタートが遅れたにも関わらず、ぱりっ子会議に参加している子ども達への連携、対応、大学生だからこそしたと準備やサポート、よく取り組めたと思います。活動での学びを生かし、これから出会う様々な課題にも主体的に、工夫して、取り組んでいくことを願っています。

なぱりんチラシ